

世界と対話する

—世界が日本を見る眼・日本が世界を見る眼—

Japan's dialogue with the world:
How the world sees Japan, How Japan sees the world

2013

11.8

入場無料
申込不要

13:30~18:00 (開場13:00)



(写真: 内閣広報室提供)

会場

名古屋大学東山キャンパス 文系総合館 7階カンファレンスホール
〒464-8601 名古屋市千種区不老町

● シンポジウム第1部

13:30~14:30 (13:00 開場)

「トヨタの国際発信力に学ぶ」

トヨタ自動車株式会社常務役員 小西工己

● シンポジウム第2部

14:50~18:00

「ポスト3.11の日本の国際発信力
—政府とメディア—」

内閣副広報官兼総理官邸国際広報室長 小野日子
在名古屋米国領事館首席領事 ハリー・サリバン
東京新聞論説主幹 山田哲夫
名古屋大学国際言語文化研究科教授 中村登志哉



● アクセス

名古屋大学文系総合館
地下鉄名城線「名古屋大学」駅から徒歩3分

世界と対話する

—世界が日本を見る眼・日本が世界を見る眼—

Japan's dialogue with the world:
How the world sees Japan, How Japan sees the world

● シンポジウム第1部 _____ 13:30~14:30(13:00 開場)

「トヨタの国際発信力に学ぶ」



基調講演

小西 工己

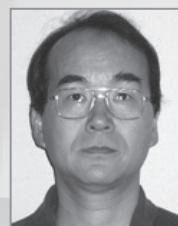
(トヨタ自動車株式会社常務役員)



ご挨拶

濱口 道成

(名古屋大学総長)



福田 真人

(国際言語文化研究科長)

● シンポジウム第2部 _____ 14:50~18:00

「ポスト3.11の日本の国際発信力 —政府とメディア—」



「3.11後、日本政府の
対外発信力はどう変わったか」

小野 日子

(内閣副広報官兼総理官邸国際広報室長)



「日本は今も米国のアジアにおける
最重要パートナーか」

ハリー・サリバン

(在名古屋米国領事館首席領事)



「ジャーナリズムの
転換点としての3.11」

山田 哲夫

(東京新聞論説主幹・名古屋大学客員教授)



「国際コミュニケーションとしての
国家イメージ」

中村 登志哉

(名古屋大学国際言語文化研究科教授)

総合司会

エドワード・ヘイグ
(国際言語文化研究科教授)

小川 明子
(同准教授)